

たかお治久

後援会
会報

No.22

■発行日／平成29年5月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員のたかお治久です。

去る3月28日には高砂市議会におきまして平成29年度当初予算（約750億円）を可決し、いよいよ新年度が始まったと実感していますが、人口減少社会を過ごす私達におきましては貴重な税収をどう使っていくかは過去にはない発想も求められ非常に気の引き締まる思いであります。新年度予算の内容は『広報たかさご（4月号）』をご参照頂くこととし、当会報では先の3月定例議会にて私が行った一般質問等、私の直近の活動についてご報告をさせていただきます。

1. 一般質問報告（抜粋）

質問 ① “いつまでも変わらない高砂の象徴” 「山陽電鉄高砂駅南地区の再開発」 を問う！



Q 過去どういう取組みがあり、何故未だに開発が進んでいないのか？

A これまでは商業活性化の観点から商工担当課が中心となり商工会議所と再開発計画策定等、地域の商業活性化に向けての協議や地元を含めた勉強会等を行ったが対象区域も広く、またバブル経済崩壊後の社会経済状況の変化や市の財政状況等により具体的な計画は進んでいない。

Q 開発の必要性をどう考えているのか？

A 建物の老朽化が進み、市南東部の玄関口としての形態が損なわれているのが現状で、関係団体との勉強会においても再整備を強く求める声が寄せられており、この課題に取り組むこととした。

Q どの様に進めるつもりなのか？

A 現在市内において「高砂駅南及び堀川周辺地区のまちづくり検討委員会」を立ち上げ、県より派遣されたアドバイザーの助言を得ながら、課題の整理及び方向性を検討しており市としてあるべき姿を模索中である。

高砂駅南の駅周辺においては、駅前広場及びアクセス道路等を含めた再整備の必要があると考えており、多大な費用と期間、また関係者の理解が必要となる。

新年度から3ヵ年をかけて立地適正化計画を策定する中で市全体を俯瞰しながら検討し、高砂駅南地区関係者による協議会を設置し、市として具体的な提案をする形で、早急にまとめていきたいと考えている。



私の主張



高砂市にとっては本当に“いつまでも変わらない高砂の象徴”的な場所として、この山陽電鉄高砂駅前が挙げられる。長年解決できていない課題でもあり財政的にも余裕がないことは承知しているだけに、財政的な支援も見込める可能性がある。しかし現在は国の立地適正化法もコンパクトシティを推奨する等、マイナス要因ばかりではないだけに、これまで市の様々な未解決課題に対応してきた登市政に期待し、市民の一人、この地で働く者の一人として、再開発実現にむけ協力していきたいと考えています。

質問 ② (提案)

若者夫婦が定着する施策

提案 ① ② ③

高砂市は、転出超過者数ゼロを目指してまちづくりを進めています。

その視点で私は、若者夫婦の定住促進を目的に

高砂市に特徴を持たせるべく

以下の3項目を提案しました。



提案① 教育レベルの向上について

Q 学力結果において県下1位の教育レベルを目指すべきと考えるが如何か？

A 市民アンケートの結果でも若い世代の転入転出への対策として「子どもの教育や子どもの環境の充実」46.1%を占め第1位であったし、他のアンケート調査においても高砂市に住むために進めるべき対策として「教育の充実」と回答した市民が多かった。

市としてもこれらの関連で「たかさご未来総合戦略」や「総合計画後期基本計画」に掲げている目標の実現に向け教育委員会と連携して教育レベルの向上を図っていききたいと考えている。

私の主張



高砂市が目指しているのは転出超過者数ゼロのまち。そしてアンケート結果でも行政に期待する施策として上記の通り「教育の充実」はかなり強い声がある。しかし昨年度(H27度)の全国学力・学習状況調査結果の中学校分類では近隣市(加古川市・明石市)よりも数ポイント劣っている事が示されている。高砂市が目指すべき方向として、教育レベルの向上に特に資源を投入することは非常に重要な施策と考えての提案でしたが、今回の一般質問では、県下一位を目指すべきとの主張については、明確な回答は得られなかったので今後も拘りを持って主張したいと考えています。

提案② 公園の充実について

Q 子育て世代の定着の為に公園の充実が必要と考えるが、如何か？

A 市は『第4次高砂市総合計画後期基本計画』の中でも「緑豊かな憩いの場の整備」として公園・緑地の拡充やリニューアルに努めるとしている。

Q 『後期基本計画』では「大型遊具の再設置等を検討する」とある。撤去されたままになっている向島公園の遊具についてはどう検討するのか？

A 同公園は市内外から多数の来場者が見込まれるとのことで昭和60年のリニューアル時には船をイメージした大型木製アスレチック遊具を設置したが、その後老朽化で危険として撤去した経緯がある。

今後同様の遊具を設置するか否かは利用する子どもあるいは保護者にとって有用な施設であるのかの観点からも判断し、財源確保の為に補助制度も活用した上で対応していきたい。



大型木製遊具が撤去されたままの向島公園

私の主張



高砂市には県立海浜公園とそれに隣接する向島公園という素晴らしいロケーションにある公園があり、昭和60年設置当時には多数の動物に大型遊具がありましたが、いつの間にか動物は殆どいなくなり、大型遊具は撤去されたまま補充されていません。その一方近隣他市（姫路市や小野市）には充実した遊具を備えた公園が継続的に維持管理されながら運営されています。高砂市の公共施設は全般に作る段階では市民や議会の声を反映し素晴らしい仕様でオープンするものの、その後の維持管理では様々な理由で品質を落としたまま（また時代の変化に追いつかないまま）運営がされています。

子育て世代にとっては、市民を大切にしていると感じられる公園があることは、社会との交わりの場であり、幸せを実感出来る場にもなると考えます。

そのことがひいては、定住先に選ぶ一つの要素にもなるのではないのでしょうか。

何故、向島公園に遊具が補充されないのか、本当に不思議です。

提案③ 通勤・通学路における危険箇所の積極的な削減

Q 市職員、関係者が実際の通勤・通学時間にその現場を定期的に確認（把握）し危険箇所の更に積極的な削減に努め、県下でも有数の事故率の低い自治体を目指してはどうか？

A 夕方の交通量が多い明姫幹線や国道2号線等の交差点、早朝においては自転車が輻輳（ふくそう：方々から集まって来ること）する交差点において交通安全等の啓発活動を行っており日中と異なる状況は把握している。また教育委員会では通学路の安全対策として平成26年度から関係機関合同で通学路の安全点検を実施し、対策が必要と思われる箇所については安全対策を実施しています。

私の主張



竜山橋付近や山陽電鉄荒井駅踏切付近等は永年にわたり改善されていない。期限を設けて必ず対応するという取組みにして欲しい。



法華山谷川左岸の通勤風景。
向うから車が来るかも！



狭い竜山橋を通う学生達

2. 平成29年1月～3月の主な活動

1月

- 新春交礼会（1/5主催：市・商工会・市議会）、消防出初式（1/8）、成人式（1/9）等新春恒例行事に出席
- 市庁舎建設設計者選定公開プレゼンテーション傍聴（1/16）
- 建設環境経済常任委員会（1/17）●総合教育会議傍聴（1/19）●議会報告会（1/22）
- 行政視察（1/25～27：東京都大田区多摩ゴミ焼却/千葉県佐倉市/愛知県高浜市）
- 高砂市野球協会総会（1/29）

2月

- 『たかお治久後援会会報（NO21）』市内6駅での配布（2/3～14）
- 総合政策審議会傍聴（2/9）●臨時議会（2/10）●二市二町環境保全協議会（2/14）●高砂市環境保全協議会（2/15）●建設環境経済常任委員会（2/17）●東播懇話会講演拝聴（2/20）

3月

- ★高砂市議会3月定例会（2/27～3/28）
- 高砂市体育賞表彰式（応援：3/18）



3. 後援会会長交代（挨拶）

この度、新しくたかお治久後援会の会長に就任させて頂くことになりました西本裕行と申します。会長就任に当たり、一言ご挨拶させていただきます。

たかお治久後援会は、平成21年の発足以降、皆様からのご支援を頂きながら7年が経過致しました。後援会の体制は変わりますが、より一層の発展に向けて微力ながらも尽力して参りますので、変わらぬご厚情お願い申し上げます。

さて、たかお治久氏は昭和63年に鐘淵化学工業(株)（現（株）カネカ）に入社して以降、民間企業での約30年の経験とともに、市議会議員としては2期目6年が経過致しました。

平成22年の初当選以来、『心晴れやかな暮らしを実感できる笑顔あふれるまちづくり』を目指し、誠意と情熱をもって高砂で働く者・住む者の意見や気持ちを行政にしっかりと発信しながら、政治活動に邁進しております。

今後においても、誠意と情熱を忘れず、市政に取り組んでいくことを確信しております。たかお治久後援会としては、今後も引き続きたかお治久を全力で支援して参りたいと考えておりますので、引き続きのご支援・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

本来ならば、皆様の所に出向いてご挨拶申し上げなければなりませんが、紙面にて失礼致します。



<鷹尾治久後援会役員>

会長：西本裕行 副会長：北野光昭 松谷敏道 荒田修 幹事：吉田淳二 会計：松森 翔平 監査：和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395（カネカ労働組合高砂支部内）